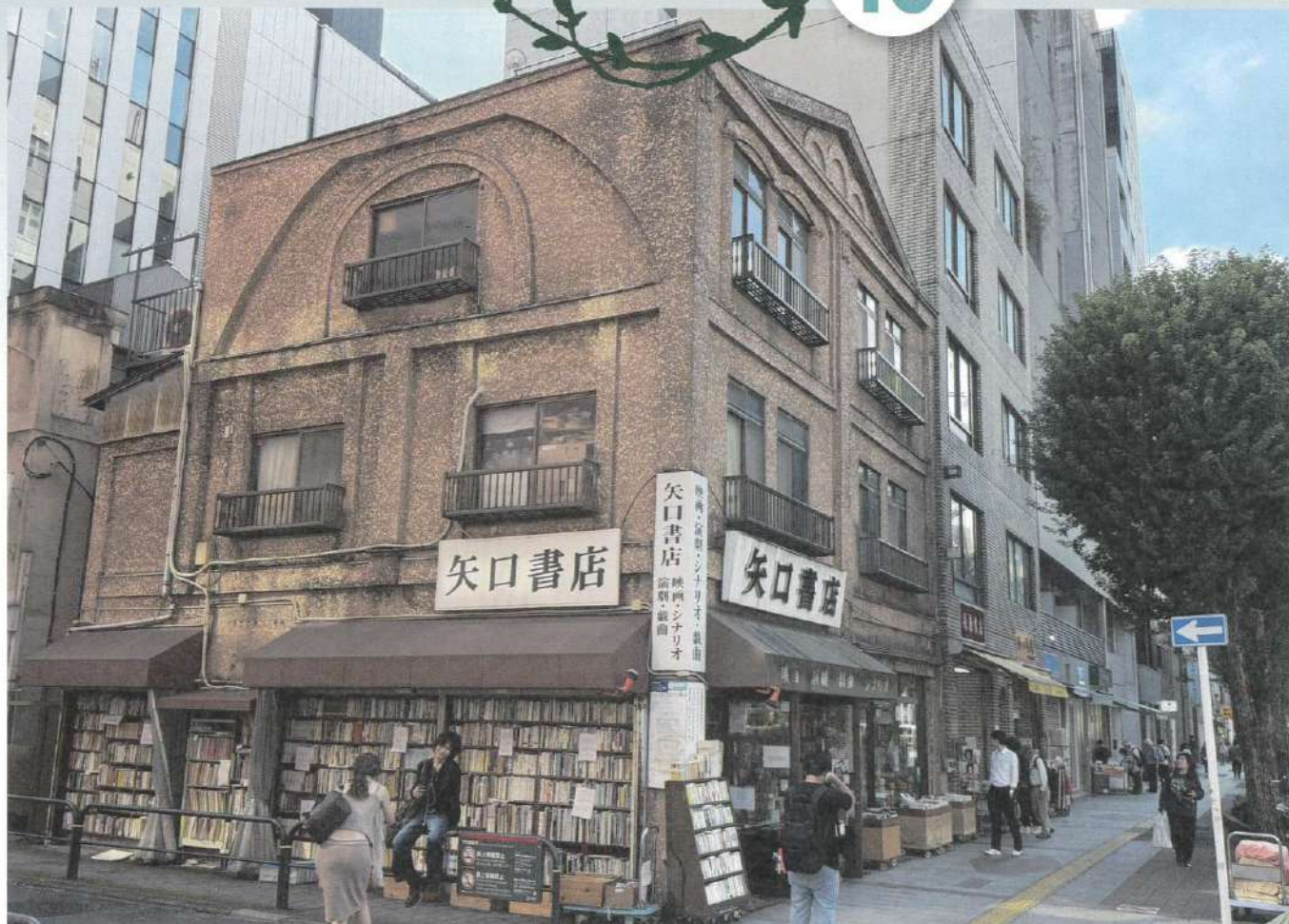


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19
発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺
TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796
発行人 山崎 哲
編集長 仲井 真裕



令和8年
10月号

大悲に生きる人とあう
願いに生きる人となる



神田古書店街 矢口書店(千代田区)

西徳寺の予定

10月

- 1日(木) **本堂改修着工**(完工予定 令和9年12月)
1日(木) 午後2時 総代会
4日(日) 午後2時半 城西ブロック会間法会
場所:西徳寺
10日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話:高橋 淳
11日(日) 午後2時半 城南ブロック会間法会
場所:三茶しゃれなあと
17日(土) 午後2時 定例間法会
21日(水) 午後1時半 婦人会間法会
25日(日) 午後2時半 城東ブロック会間法会
場所:松戸市民劇場
31日(土)・11月1日(日) **報恩講**

11月

- 8日(日) 午後2時半 城北ブロック会間法会
場所:西日暮里「一合」
11日(水) 正午 婦人会食事会
21日(土) 午後2時 定例間法会
23日(月) 午後5時 燈虹塾
28日(土) 午後5時半 同行会「和讃」に学ぶ
法話:大橋 伊知郎



※予定は変更することがあります。
詳しくは寺務所までお問合せください。



「至心」はすなはちこれ真実誠種の心

親鸞聖人『教行信証』信巻

地震後、熊本の実家に帰ると、息苦しかった。被害があった自宅の片付け、寺の片付け、そして始まるお盆参りと、次から次へと事が重なる中で、どこか忙しなく暮らす家族やお寺にお参りされる方たちの様子からそう思ったのだろう。その中で、被災していない自分がどうにか気持ちを汲むことができないかと思ひながら過ごしていたが、家族や寺でお会いする方たちからは活気が見えず、文字通り心を失くしているように、私には感じられた。

そんな時、あるご門徒に「あんたも大変だろう」と言われた。「そんなわけがない」と、頭ではそう思っていたが、温かみのある「心」を感じ、気が楽になった。この時、私が感じた「心」とは何なのか。振り返ると、私が気持ちを汲もうとした行動は、被災した人に対して、被災していない私はこんな態度で接すれば、法事後に良い法話をしたいという、常に体裁を意識する下心であった。私が感じた温かみのある「心」とは、相手が私のことを受け入れてくれたという思いであった。しかし、それが応じてもらえなければ、「忙しそうだな」と家族やお寺に来る方を感じた息苦しさのように、相手に原因を押しつける自分勝手な心があるのだ。

親鸞聖人は、至心とは、阿弥陀仏のまことの心であり、それは嘘偽りがなく、疑いもない真実誠種の心であると表現している。また、それは、私たちが起こすのではなく、阿弥陀仏が起こす心であり、常に私たちに届いているものだ。と教えらる。阿弥陀仏の心は、私の思いや考えに應えるものではなく、それが、どこまでも自分の都合次第で変わっていく下心でしかなく、それを明らかにしてくるまことの心である。

ご門徒の言葉は、日々の暮らしの中で、様々な問題に一喜一憂し、自分中心でしか物事を見ることができない私の心をさらけ出した。

(大谷 隆 記)

ランドマーク

神田古書店街

10月、読書の秋！ということで、今月は千代田区神田神保町にある神田古書店街（神田神保町古書店街）を訪れました。

世界最大といわれる古書店街、神田古書店街は、周辺を含めると約150～180店もの古書店があり、都内の古書の約3分の1が集約していると言われているそうです。

明治10年代頃、神保町に学校、特に法律学校が相次いで誕生したことから、法律書の書店と古書店も続々と開店し、古書店街へ発展しました。上級生らが使い終えた教科書売り、下級生らが教科書買いに来る、というやり取りが文化となり、発展していきました。また、「三省堂」・「岩波書店」・「主婦の友社」・「小学館」・「集英社」など、多くの出版社も神保町周辺に建ち並びました。

戦時中、神保町も空襲を受け大きな被害を受けましたが、古書店街は空爆による被災を免れ、戦後もその賑わいを継続することになりました。

表紙の矢口書店は、大正7年（1918）創業、昭和3年（1928）築の木造3階建てで、神保町のランドマーク的存在として営業を続けています。



撮影後は有名店「欧風カレー ボンディ」へ行きました

成佛道 ～報恩講へ向けて～

今月10月31日(土)・11月1日(日)と、西徳寺報恩講が勤まります。

今年も滋賀県・佛道寺 竹林栄哲布教使よりご法話を頂戴いたします。

今回は竹林布教使の自己紹介とお寺の紹介をしていただきました。

報恩講当日も、ぜひご聴聞ください。

西徳寺住職 山崎 哲

私のお寺は滋賀県米原市にある、竹林山佛道寺といいます。

私は昭和50年に次男として生を受け、小学6年の3月に得度^{とくど}をしてお坊さんの仲間入りをしました。この得度研修の僅か1年数か月後、父が頸椎骨折により車椅子生活となり、兄と共にお寺の手伝いをするようになりました。その後、兄弟で相談し私がお寺の道へ進むことになりました。得度研修での「縁起」のお話が、仏教への興味を持たせ、その決意をさせてくれました。平成12年には住職を拝命し、布教使や式務衆にも任命いただいております。数年前からは桑原専慶流の華道教室へ入門し、本堂の仏華を生けるべく研鑽をしております。

趣味はサイクリングで、毎朝1時間ほど琵琶湖岸を走るのが日課で、リカンベントという種類の自転車に乗っています。

米原には、中山道が通っており3つの宿場がありました。百人一首にも読まれた「イブキもぐさ」で有名な柏原宿。北条氏終焉の地である蓮華寺がある番場宿^{ばんば}。そして平成の名水百選にも選ばれた「居醒^{いさめ}の清水^{しみず}」がある醒井宿^{さめがい}です。この醒井宿は梅花藻や彫刻が有名で、日本人唯一の三蔵法師である靈山三藏^{りょうせん}の生誕地でもあります。

お寺は、中山道と琵琶湖の中間辺りにあり、米原駅まで歩いて10分、琵琶湖まで自転車で10分の場所です。国宝の彦根城も自転車で20分の距離です。慈覚大師作と伝わる阿弥陀如来像を本尊として、1272年に天台宗寺院として建立されました。1328年に2代目住職が了源上人へ帰依し、佛光寺派の寺院となり、私で26代目となります。

本堂の欄間は、醒井の彫刻で、中央の龍の欄間は「雨ごい」に使われていたと伝わっています。

(竹林 栄哲 記)



龍の欄間



リカンベント(自転車)

報恩講のご案内

日時：10月31日（土）

午前10時	初日中法要 法話
午前11時半	混声合唱団「エコー」演奏
正午	お斎（昼食）
午後1時半	大逮夜法要 法話

11月1日（日）

午前10時	満日中法要 法話
-------	-------------



竹林栄哲師

※本堂改修工事のため、今年の報恩講は西徳寺会館1階「星月の間」にてお勤めいたします。

布教使紹介 ひさのり 竹林 栄哲 師

昨年に引き続き、佛道寺（滋賀県米原市）で住職の竹林栄哲師にお越しいたします。昨年は、称名念仏の道は、阿弥陀様の救いにかなう私に出会うことであるとお聞きしました。また、この度から、報恩講事前の「えこお」7月号・10月号に竹林布教使よりご寄稿をいただきました。改めて、皆様には是非ご一読いただき、西徳寺にお参りください。

住職 山崎 哲

- ・お斎（昼食）の関係上、お参りの方は同封の返信用ハガキか、お電話にて **10月27日まで** にお申し込みください。
- ・誠に恐縮ではございますが、法務執行のためご懇志の協力をお願い申し上げます。

西徳寺本堂令和の大改修

去る10月1日、起工式を経て本堂大改修を着工いたしました。

大正13年6月中旬に出された、西徳寺本堂再建発起人の言葉に「一切の人生の避難所、精神修養の理想の故郷」という言葉があり、改めて本堂の意義が確認されます。

着工を迎えることができましたのは、偏にご門徒をはじめ、ご縁をいただいた方々のお陰であります。心より感謝申し上げます。

なお、未だ目標額には達していない現状であります。今後も引き続きご懇志をお願いしておりますので、何卒、ご協力のほど切にお願い申し上げます。

『ご寄付』に付きましては、工期中も受け付けております。

【工期：令和8年10月1日～

令和9年12月末日】

また『瓦懇志』につきましては、瓦棟上げの都合上、令和9年6月迄とさせていただきます。

住職 山崎 哲



本堂側面断面図（3D）

秋季永代経法要

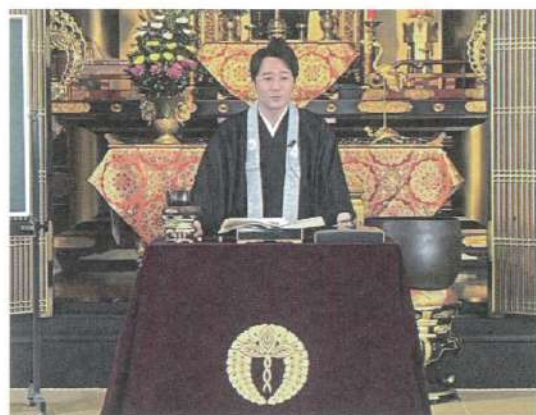
9月22日（火）、台風一過の秋晴れの中、秋の永代経法要をお勤めいたしました。
 今年は大橋副住職と山崎住職が法話をし、共に御讃題は浄土和讃より「染香人のその身には^{こうけ}香気あるがごとくなりこれをすなはちなづけてぞ^{こうこう}香光莊嚴ともうすなる」。

大橋副住職は、「香りは具体的には人が莊嚴している。先立って念仏の教えを聞いてきた人々、先立って苦悩された方々が染香人であり、この本堂を莊嚴しているのだ」と改修工事前、最後の法要であることから、本堂について話をされました。

山崎住職は「莊嚴はカタチのないものが形取られる。カタチのないもの、それは願いではないか。親鸞聖人は法然上人を智慧の人と仰いだ。煩惱が消えない愚かな凡夫だからこそ仏の声に尋ねられた。その法然上人の姿こそが染香人と示されているのだ」と、莊嚴という言葉について尋ねられました。（仲井 真裕 記）



山崎住職



大橋副住職

同行会送別会

去る9月9日、蓮井邦宗君の送別会を、同行会として行いました。

蓮井君は西徳寺へ入寺し17年という月日が経ちました。「あつという間だった」というのが正直なところですが、その間には、同行会会員の方々と一緒に聞法を重ねてこられました。

福井県へ行かれても、ご住職として、ご門徒と共に親鸞聖人の御教えに耳を傾け続けられることを、同行会一同、願っております。益々のご活躍を期待しております。

（担当：大橋 伊知郎 記）



石井会長と蓮井君



坊さんのツブヤITTER

@イチー



先日、新潟県燕市にある「法華宗 総本山 本成寺」へ伺いました。よくご門徒さんから「お寺さんは何か落ち着くね」とか、「心が洗われるわ」ということを耳にしますが、その気持ちよく分かります！本成寺さんも凄く素敵なお寺さんでした！

#本成寺 #本堂 #新潟



法華宗総本山本成寺

えこお志お礼

ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。

台東区 磯田 元雄 様

神奈川県 齊藤 祐三 様

江戸川区 形屋 顕弘 様



内愚外賢

～賢者の信を聞きて、
愚禿が心を頭す～

今年の夏は天変地異、自然災害が多く起こってしまいました。被災された方にはお見舞い申し上げます。東京も雨ばかりが続き、9月上旬は日照時間が観測史上最少になったそうです。

今月号は神保町まで表紙の写真を撮りに伺ったのですが、雨の日が続き、なかなか思い通りの写真が取れず、晴れている日を探して撮影に行きました。

渇水の際は雨どいをし、屋外での行事の時はテルテル坊主…。なんと自分勝手なのかと思わされます。私たち人間は、地球の自然に生かされているのであって、人間が地球の主ではないわけであります。都合の悪いことが起きないと当たり前をいだけない、なんとも愚かな私に気付かされます。

冬生まれで暑いのが苦手な私は、今夏の涼しさだけは有難かったです。

(編集長 仲井 真裕 記)



曇り空の浅草寺仲見世

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ saitokuji@ce.wakwak.com

🌐 <https://saitoku-ji.jp>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook

「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせてください。